

科目名	財政金融制度論（1クラス、2クラス）	
担当者	津田 廣喜	
配当学期	秋学期	
単位	2単位	
授業概要	<p>政府や中央銀行が行っている財政金融政策（金融行政を含む）を理解するためには、制度を知らなければならない。諸制度は前提となる「哲学」の違いもあって多種多様であり、関心分野以外は判らない場合が多いので、財政・金融全体だけでなく個別分野についても講義する。必要に応じ、政策決定過程の実態や「政」と「官」の関係にも触れる。</p> <p>一定の区切りごとに院生にレポートを発表してもらい、参加者全員で討議することも考える。</p> <p>春学期・秋学期の一年間で全体をカバーする。</p>	
授業の到達目標	幅広い分野の制度と実態を理解することによって、地に足のついた議論が展開でき、政策に関する自分の論理に一層の説得力を持たせることができる。	
授業計画	(1) 地方財政 1 (2) 同 2 (3) 同 3 (4) 農林水産 1 (5) 同 2 (6) 同 3 (7) 経済協力 (8) エネルギー、環境 (9) 中小企業対策 (10) 財政投融资 (11) 国債 (12) その他の債権債務管理 (13) 金融政策・金融行政 1 (14) 同 2 (15) 同 3	
教科書	教科書は使わず、随時、資料などを配付する。	
参考文献	財政学、金融論の教科書を読んで理解しておくことが望ましい。	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	

	レポート 60 %	
	平常点評価 40 %	
	その他 %	2分の1以上の出席を成績評価の条件とする。
関連 URL		
備考		